

令和8年5月7日

ふるさとイベント大賞で最優秀賞受賞の「天空の不夜城」

— 伝統とデジタルが融合する新たな挑戦へ —

豪華絢爛な城郭灯籠が夜空を彩る秋田県能代市の夏を代表するイベント「天空の不夜城」は、2026年で12回目の運行を迎えます。本イベントは、巨大な城郭型灯籠「愛季(ちかすえ)」と「嘉六(かろく)」が市中心部の国道101号を練り歩く、全国でも類を見ないスケールの七夕行事です。今年新たな試みとして、プロジェクションマッピング等のデジタル技術による演出を予定しています。

* 第30回ふるさとイベント大賞において最優秀賞(総務大臣賞)を受賞

1 イベントの概要

城郭型灯籠として日本最大級の高さを誇る24.1メートルの「愛季」と17.6メートルの「嘉六」は、江戸時代後期から明治期にかけて存在したとされる城郭灯籠の記録や写真をもとに復元されたもので、2013年(平成25年)に地域活性化を目的として誕生しました。巨大灯籠が夜空に浮かび上がるその姿は圧巻で、訪れる人々に強い印象を残しています。



2 地域一体となった運行

本イベントは、地域一体となった取り組みとしても注目されています。運行には地元の中高校生が参加し、中学校では「ふるさと教育」の一環として七夕運行が行われるなど、次世代への文化継承が図られてきました。また、会場での安全管理や水分補給のサポートには地元看護学校の学生が携わるなど、多くの若い世代が運営を支えています。



3 国外からも強い関心

近年では、海外への情報発信にも力を入れており、日本政府観光局によるプロモーションでもトップクラスのエンゲージメントを記録(*3.5万いいね、229コメント)。日本の夏祭りの中でも、特に視覚的インパクトの強いコンテンツとして、訪日外国人旅行者からの関心も高まっています。

*2026年4月29日現在

4 新たな挑戦

今年のイベントでは(2026年8月2、3日開催)新たな試みとして、デジタル技術による演出を予定しています。灯籠運行の合間に、事前に公募した城郭灯籠の絵柄を中心にミニチュア灯籠へプロジェクションマッピングで投影し、観るだけでなく「参加するイベント」として、来場者自身がイベントの一部となる体験を提供します。

この取り組みにより、地域内外の人々との新たな接点を創出するとともに、次世代に向けた文化継承と創造的な発展を目指します。また、イベントの最後を飾る点灯式の前に大型灯籠「愛季」にもプロジェクションマッピングによる演出を予定しており、来場者の皆様には最後まで楽しんでいただけるものと思います。

5 今後に向けて

能代市では、伝統文化の魅力を次世代へつなぐため、デジタル技術の活用による新たな価値創造にも積極的に取り組んでいます。これまでに、会場でのCG映像投影などの演出強化に加え、オンライン上の仮想空間(メタバース)に「天空の不夜城ミュージアム」を構築。灯籠「愛季」の3DCGモデルや歴史資料を展示し、場所や時間を問わず祭の魅力に触れられる環境整備を進めています。これにより、貴重な灯籠の意匠や構造を劣化させることなくデジタル保存することが可能です。「天空の不夜城」は、伝統の復元から始まり、地域関係者や若者たちによって支えられながら進化を続けてきました。今後はデジタル技術と融合した新しいイベントの形を提示し、国内外に向けたさらなる魅力発信と交流人口の拡大を図っていきます。





■[天空の不夜城 公式ウェブサイト](#)

■[あきた白神エリアの情報はこちらから](#)

■[多言語ポータルサイト Visit Shirakami\(English/繁体字/日本語\)](#)

【お問い合わせ先】

一般社団法人あきた白神ツーリズム 藤田、近藤

電話：0185-74-7115 FAX：0185-74-7116

E-Mail：akita-shirakami@as-t.jp